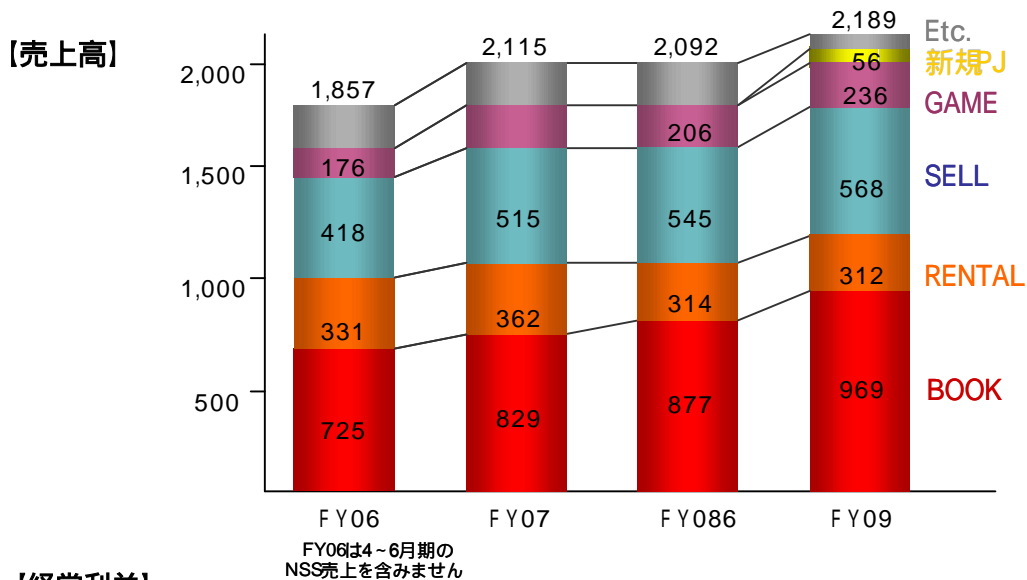


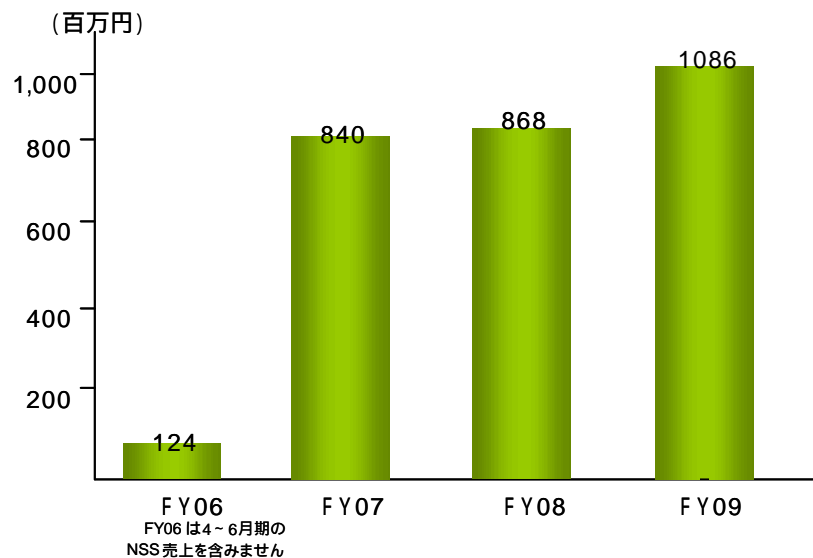
## 2009年度、増収増益を達成 売上高 218,964 百万円、経常利益 1,086 百万円

TSUTAYA店舗で取り扱う商品の商物流事業会社、株式会社MPD(以下MPD)の2009年度の売上高は、218,964百万円(前年比104.7%)、経常利益は1,086百万円(前年比125.0%)と増収増益を達成しました。これは、エンタテインメント業界が伸び悩む中、当社はBOOK・GAME販売が順調に拡大した事、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(以下CCC)から事業移管を受けた新規事業が軌道に乗り、相乗効果による経費削減が収益に寄与する事等の要因によるものです。

### 2006～2009年度の売上高・経常利益推移



**【経常利益】**



## 2009 年度アイテム別商品売上

 <b>2009年度商品売上</b>			
(単位:百万円)			
	実績	前年差	前年比
BOOK	96,873	9,173	110.5%
AV SELL	57,889	-4,700	92.5%
GAME	23,680	3,067	114.9%
RENTAL	31,312	-237	99.2%
新規PJ	5,644	5,644	-
その他	4,818	-3,105	60.8%
<b>TOTAL</b>	<b>220,216</b>	<b>9,842</b>	<b>104.7%</b>

※上記は公表売上高とは異なります

1. BOOK は TSUTAYA BOOK NETWORK (TBN) 既存店前年比が 100% と堅調であったことと、契約切替・移管のお取引様増加の効果で、前年比 110.5% となりました。また、責任販売も書籍契約が 355 銘柄、TSUTAYA MAGAZINE PROJECT (TMP) 契約が 79 タイトルと前年度実績を大幅に上回りました。
2. DVD、CD 販売は「GReeeN」ベスト盤や「嵐」「アバター」等のヒット作もありましたが、市場の落ち込みをカバー出来ず前年比 94.2% となりました。
3. GAME 販売は、「PS3」の発売、「ポケモン」「ファイナルファンタジー」「ドラゴンクエスト」「New スーパーマリオブラザーズ Wii」等のヒット作の影響で前年比 115.0% と好調に推移しました。
4. レンタル用商品は、「絢香」、「嵐」、「木村カエラ」、「ファンキーモンキーベイビーズ」らのベスト盤や、映像レンタル施策による旧譜追加需要がありましたが、前年比 99.6% の結果となりました。
5. CCC より事業譲渡されたりユース事業、BM.3 事業により、新規プロジェクトがスタートしました。今後は新事業を足掛かりに新規アイテムの取扱、販売チャネルの拡大等、シナジー効果を狙った取組みを行います。

### 2010 年度の見通し及び重要テーマについて

2010 年度も引き続き当社を取り巻く環境は厳しいものと予想されますが、昨年度よりスタートした新中期経営計画の基本戦略を推し進め、経営基盤の強化を図って参ります。具体的には、今期重点テーマである BOOK 構造改革、物流再編、統合効果の発揮の 3 点を推進することで、商品売上高 225,000 百万円 (前年比 102.2%)、2 期連続の増収増益を目指して参ります。